

筆順の大原則は

一、 上から順

二、 左から順

です。

このカラー筆順は、主として
その原則を破る場合のところで
色を変えています。

かなり判りやすくなっていると思います。

弓



ゆみへん

引

④

ひ

(く)

引

イン

ニ一I

ひく	引く・弓 かない	きゅういん	吸引 する
ひかない	引かない	ごういん	強引 にすすめる
ひきます	引きます		
ひいた	引いた		
ひけば	引けば		
ひこう	引こう		
ひっぱる	^{つな} 綱を引っぱる		
ひっこす	引っこす		
じびき	字引 をひく		
ふくびき	福引 をひく		
いんせき	引責 ^{しにん} 辞任		
いんりよく	^{ちきゅう} 地球の引力		

羽 はね

羽

⑥

は
は
ね

羽

ウ

2002

はね 羽^はが生える

はね 羽^のを伸ばす

はね 羽^{ふとん}

はおと 羽音^{におどろく}

はおり 羽織^{はかま}

はごろも 天女^{てんには}の羽衣

はめ 羽目^{をはずす}

うか 羽化^{する}

うもう 羽毛^{ふとん}

雲

あめぐも

雲

⑫

くも

雲

ウ

くも	雲 ^で が出る	うんかい	山上 ^{さんじょう} から雲海 ^を 見る
くも	雲 ^{ひろ} が広がる	うんじょう	雲上 ^{ひと} の人
くもあし	雲足 ^{はや} が速い	あんうん	暗雲 ^が たれこめる
くもま	雲間 ^{つき} からお月さん	せいうん	星雲 ^{ほし あつ} は星の集まり
あまぐも	雨雲 ^{ひろ} が広がる	せいうん	青雲 ^{こころざし} の志
なつぐも	夏雲 ^{あき くも} ・秋の雲	せきうん	積雲 ^{けんうん} ・巻雲
ゆうぐも	夕雲 ^{あさぐも} ・朝雲	はくうん	白雲 ^{そら} うかぶ空
ゆきぐも	雪雲 ^{あまぐも} ・雨雲	ふううん	風雲 ^つ 急を告げる
わたぐも	綿雲 ^の のような		

2004

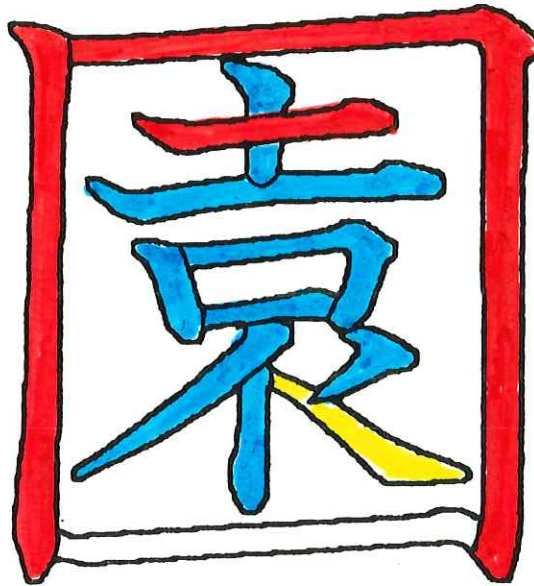


くにがまえ



13

その



イン

2004 園

はなぞの ひみつ秘密の花園

えんげい 園芸 さくもつ作物

えんちょう ようちえん幼稚園の園長

がくえん 学園 さい祭

こうえん 公園 あそで遊ぶ

さいえん かてい家庭菜園 やさいの野菜

ぞうえん 造園 か家

ていえん 庭園 ていの手入れ

のうえん ○○農園

らくえん てんじょう天上の楽園

遠

エ
ン
オ
ン

遠

13

遠

エ
ン
・
オ
ン

と
お
(い)

とおい	遠い・ <small>ちか</small> 近い	えんとう	遠島 <small>を</small> 申 <small>もう</small> しつける
とおい	遠く <small>ない</small>	えんぼう	遠方 <small>より</small> お客 <small>きやく</small> さん
とおめ	<small>よめ</small> 遠目 <small>かさ</small> の <small>うち</small>	えんよう	遠洋 <small>ぎよぎよ</small> 漁業
とおあさ	遠浅 <small>うみ</small> の海	えんらい	遠来 <small>きやく</small> の客
とおで	遠出する	えんろ	遠路はるばる
とおみち	遠道 <small>ちかみち</small> ・近道	いえん	<small>きやうと</small> 以遠 <small>京都</small>
えんいん	遠因 <small>なる</small> となる	えいえん	永遠
えんえい	遠泳 <small>たいかい</small> 大会	くおん	久遠 <small>びん</small> に轟く
えんかい	遠海 <small>ぎよぎよ</small> 漁業	けいえん	敬遠する
えんきん	遠近 <small>と</small> を問 <small>わ</small> わず	ぼうえん	望遠鏡 <small>キョウ</small>
えんけい	遠景 <small>きんけい</small> ・近景	えんきより	遠距離 <small>つうがく</small> 通学
えんこく	遠国 <small>で</small> へ出 <small>で</small> かける		
えんし	遠視 <small>きんし</small> ・近視		
えんしん	遠心 <small>りよく</small> 力・求心力		
えんそく	遠足 <small>で</small> に出 <small>で</small> かける		
えんだい	遠大 <small>けいかく</small> な計画		

2006

何

なん

何

⑦

なに・なん

何

力

なに 何がありますか

きか

ずけい がくもん 幾何
図形の学問

なにかと 何かと^{たいへん}大変です

なにごと 何事ですか

なにぶん 何分よろしく

なにもの あなたは何者だ？

なにもの 何物にも^か換^{がた}え難い

なにゆえ 何故そんなことを

なんと 何度^{なんど}も何度も

科

カ

科

⑨

科

カ

かがく 科学^{しゃ}者
かもく 四^{よん}科目^{こぎんじやり} 国算社理
かりよう 罰^{ばん}金^{しん}の種^{しゆ}類^{るい} 科料

いか 医科^{だいがく}大学
がんか 眼科^{いし}の医^い師^し
きようかしょ 教科書
げか 外科^{ないか}・内^い科^か
さんか 産科^{いし}の医^い師^し
せんか 専科^{せんせい}の先^{せん}生^{せい}
ないか 内科^{げか}・外^い科^か
ひやっか 百科^{じてん}事^じ典^{てん}
ぶんか 文科^{けい}系^{けい}・理^り科^り系^{けい}
りか 理科^{しゃかい}・社^{しゃ}会^{かい}

夏

なつ

夏



なつ

夏

カ・ゲ

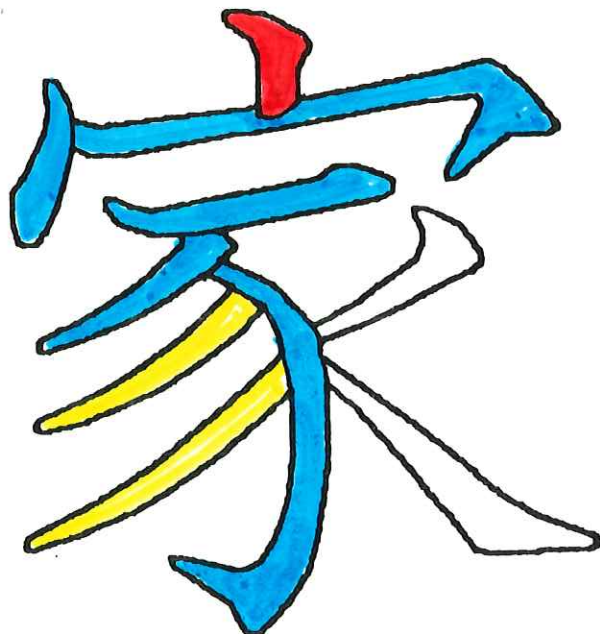
2008 夏

なつ	夏 ^{あつ} は暑い・冬 ^{ふゆ} は寒い ^{さむい}	かき	夏期 ^{きゅうか} 休暇
なつ	夏 ^{やす} 休み・冬 ^{ふゆやす} 休み	かき	夏季 ^{とうき} ・冬季
なつ	夏山		
なつぎ	夏着 ^{ふゆぎ} ・冬着	しよか	初夏 ^{しょしゅう} ・初秋 ^{しよとう} ・初冬
なつくさ	夏草 ^や つわもの強 ^{ゆめ} 者どもが夢のあと	せいか	盛夏 ^{こう} の候
なつぐも	夏雲 ^{あき} ・秋 ^{くも} の雲	ばんか	晩夏 ^{ばんしゅう} ・晩秋
なつふく	夏服 ^{ふゆふく} ・冬服	りっか	立春 ^{りっしゅん} ・立夏
なつもの	夏物 ^{ふゆもの} ・冬 ^{ふく} 物の服		
なつやま	夏山 ^{ふゆやま} ・冬山	げし	夏至 ^{とうじ} ・冬至
とこなつ	みなみ南の常夏 ^{くに} の国		
まなつ	真夏 ^{まふゆ} ・真冬		

2009



うかんむり



いえ・や

カ・ケ

2009 家

いえ 家^たを建てる

いえじ 家路^{いそ}を急ぐ

いえもと お花^{はな}の家元

やちん 家賃^{はら}を払う

やぬし 家主^かから借りる

かしゃ 貸家^{さが}を探す

しゃくや 借家^{しゃくち}・借地

かうん 家運^{かたむ}が傾く

かおく 浸水^{しんすい}家屋

かぎょう 家業^つを継ぐ

かくん 家訓とする

かぐ 家具^{ちようどひん}調度品

かけい 家系^{しら}を調べる

かけい 家計^{ひくるま}は火の車

かさい 家裁 = 家庭裁判所

かしん 家臣^{したが}を従えて

かじ 家事^{いそしむ}にいそしむ

かじん 家人^{はルス}でした

かせい 家政^{こくせい}・国政

かぞく 家族^{かてい}・家庭

かちょう 家長^{めいれい}の命令

かてい 家庭^{えんまん}円満

かでん 家伝^{カレー}のカレー

かない 家内^{つま} = 妻

かふう 家風^あに合わない

かほう 家宝^{にする}にする

かめい 家名^{をけがす}をけがす

かもん 家門^{ほま}に誉れ

かろう 藩^{ほん}の家老

いっか 一家^{そうて}総出^{かんげい}で歓迎

がか 画家^えの絵

2010

歌

あそび

歌

14

うた・うた(う)

歌

カ

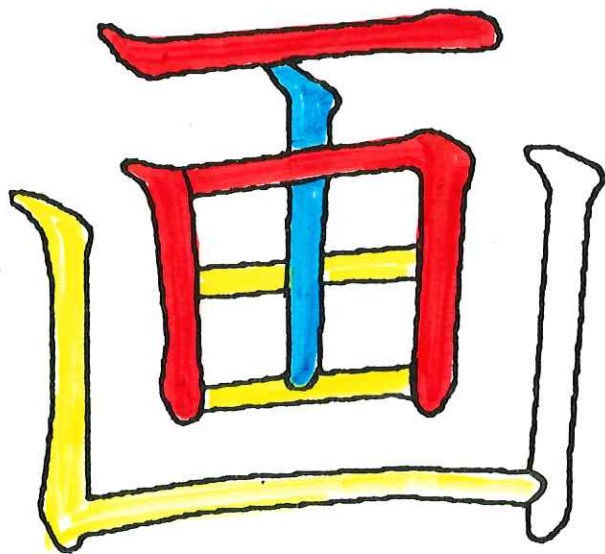
うた	歌 ^{うた} を歌う	かきよく	シューベルトの歌曲集
うたう	歌 ^{うた} を歌う	かげき	歌劇カルメン
うたう	歌 ^{うた} を歌わない	かし	歌詞 ^{おぼ} を覚える
うたう	歌 ^{うた} を歌おう	かしゅ	歌手 ^{うた} が ^{うた} 歌 ^{うた} を歌う
うたかい	歌会はじめ	かしゅう	歌集 ^あ を編む
うたごころ	歌心がある	かしょう	歌唱 ^あ 力 ^{はつぐん} 拔群
わらべうた	童歌 ^{うた} を歌う	かじん	歌人・詩人 ^{しじん}
はなうた	鼻歌 ^{うた} を歌う	ぐんか	軍歌 ^{うた} を歌う
		こうか	校歌 ^{うた} を歌う
		こっか	国歌・国旗 ^{こっき} ・国花 ^{こっか}
		さんか	冬山 ^{ふゆやま} 賛歌
		しいか	詩歌 ^{おぼ} を覚える
		しょうか	唱歌 ^{うた} を歌う
		せいか	グレゴリオ聖歌
		たんか	五七五七七の短歌
		ぼっか	牧歌 ^{てき} 的 ^え な絵



た

画

⑧



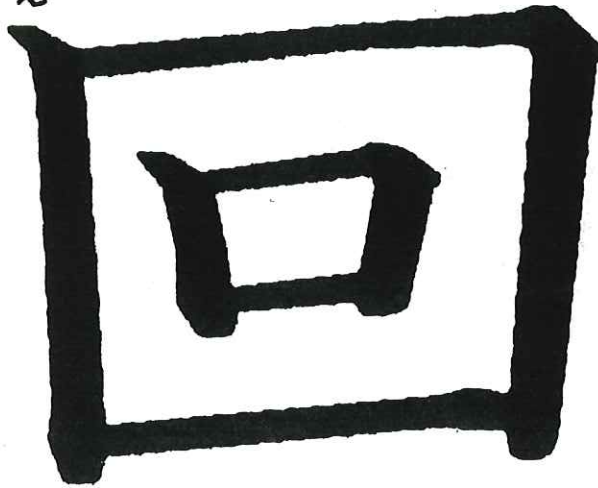
ガ・カク

がか	画家 <small>え</small> の <small>絵</small>	かくいつ	画一 <small>てき</small> 的
がしょう	<small>かいが</small> 絵画 <small>う</small> を <small>売る</small> 画商	かくさく	画策 <small>する</small>
がぞう	画像 <small>にゅうりょく</small> 入力	かくすう	画数 <small>かぞ</small> を <small>数える</small>
がばん	画板	かくぜん	画然 <small>とした</small>
がふう	画風 <small>しょふう</small> ・書風 <small>さくふう</small> ・作風	くかく	区画 <small>せいり</small> 整理
がめん	画面 <small>み</small> で <small>見る</small>	さんかく	参画 <small>する</small>
えいが	映画 <small>み</small> を <small>見る</small>	てんかく	<small>かんじ</small> 漢字の点画
かいが	絵画 <small>きょうしつ</small> 教室		
げきが	劇画 <small>まんが</small> 漫画		
ずが	凶画 <small>を</small> かく		
はいが	俳画 <small>はいじん</small> 俳人		
ほんが	版画 <small>ほ</small> を <small>彫る</small>		
めいが	名画 <small>ひゃくせん</small> 百選		
ようが	洋画 <small>ほうが</small> 邦画		
りゃくが	略画 <small>さいみつが</small> 細密画		
ろくが	録画 <small>する</small>		

2012

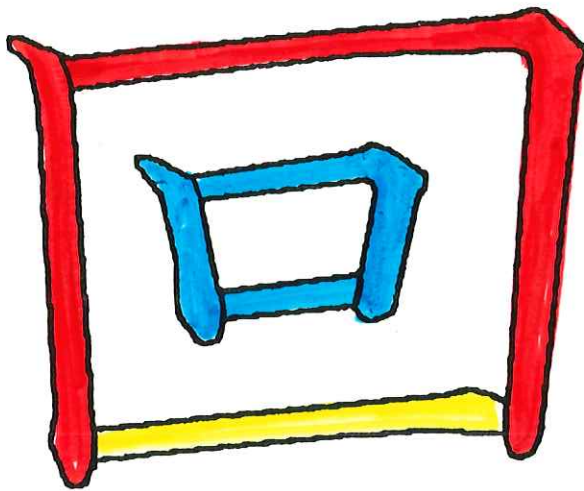


くにかまえ



⑥

まわ(る)



カイ・エ

まわる 周りを^{まわ}回る

まわる 回^{まわ}る 回^{まわ}る・

まわり 回^{みち}り 道

かिसう 回数^{かさ}を重ねる

かいそう 回想^{さぐる}する

かいてん 回転^{かま}する

かいぶん 回文^かを書く

かいらん 回覧^{ばん}板^{まわ}を回^{まわ}す

かいろ 電^{でん}氣^きの回路

こんかい 今回^し・次^{かい}回

じかい 次回^{まわ}に回^{まわ}す

すうかい 数回^{まい}・每^{まい}回

てんかい 転回^{くる}する

まいかい 每回^で出^でる

えこう 回^{とむら}向^う = 回向

2013

会

ひとやね

会

⑥

あ(う)

会

カイ・エ

あう	ひと 会う	うたかい	歌会 ^{はじめ}
あう	ひと 会わない	かいかい	開会 ・ ^{へいかい} 閉会
あう	ひと 会おう	きかい	機会 をつかむ
かい	^{かい} 会の 会員	きょうかい	すもう 協会
かいかん	^{まるまる} 〇〇 会館	きょうかい	教会 に行く
かいき	会期 を ^の 延ばす	ぎかい	議会 ^{せいじ} 政治
かいぎ	会議 を ^{ひら} 開く	こっかい	国会 ・ ^{けんかい} 県会・ ^{しかい} 市会
かいけい	会計 ^{けんさ} 検査	さいかい	^{きゅうゆう} 旧友と 再会 する
かいしゃ	会社 の ^{しゃちょう} 社長	しかい	司会 ^{しゃ} 者
かいしん	会心 のできばえ	しかい	市会 ・ ^{ちょうかい} 町会・ ^{そんかい} 村会
かいじょう	会場 に ^{あつ} 集まる	しゃかい	社会 に出る
かいせき	会席 ^{りょうり} 料理	ちゃかい	お 茶会 をする
かいそく	会則 を ^{さだ} 定める	とかい	都会 のくらし
かいだん	会談 する	ぶかい	部会 ・ ^{そうかい} 総会
かいちょう	会長 ・ ^{しゃちょう} 社長	へいかい	閉会 ・ ^{かいかい} 開会
かいひ	会費 を ^{おさ} う納める		

2014

海

さんずい

海

⑨

うみ

海

カイ

2014 海

うみ 海を見る

うみ 海で泳ぐ

うみべ 海辺・きしべ 岸

うなばら おお海原わたを渡る

かいうん 海運・りくうん 陸運

かいかい 海外りょこう旅行

かいがん 海岸・かわぎし 川岸

かいぐん 海軍・りくぐん 陸軍

かいじょう 海上・すいじょう 水上

かिसい 海水・まみず 真水

かいず 海凶・ちず 地図

かいせん 海戦・りくせん 陸戦

かいそう 海草を食べる

かいちゅう 海中・かいじょう 海上

かいてい 海底・こてい 湖底

かいどう とう海道・なんかいどう 南海道

かいなん 海難きゅうじょ救助

かいふう 海風・りくふう 陸風

かいめん 海面・かいじょう 海上

かいよう 海洋・わん 湾・みずうみ 湖

かいり いち海里は18520m

かいりゅう 海流

かいろ ま待てば海路の
ひより日和あり

うんかい さんじょう山上からの

えんかい 雲海のながめ

えんかい 沿海ぎょ漁ぎょう業

えんかい 遠海ぎょ漁ぎょう業

がいかい 外海・ないかい 内海

きんかい 近海・えんよう 遠洋

こうかい 航海でに出る

さんかい 山海ちんみの珍味

しんかい 深海ぎょ魚

2015

絵
2015

絵

12

絵

カイ・工

2015 絵

かいが 絵画^{きょうしつ}教室

えし 絵師^{がくし}・楽師

えず 昔^{むかし}の絵図

えほん 絵本^よを読む

えま 絵馬^{ほうのう}を奉納

したえ 下絵^{をかく}

すがたえ 姿絵

2016

外 ゆうげ

外

⑤

そと・はず(す)

外

がい・げ

そと	外 ^{うち} と内	がいしょう	外相・内相 ^{ないしょう}
そと	外 ^で へ出る	がいじ	外耳・中耳 ^{ちゅうじ} ・内耳 ^{ないじ}
はずす	外す ^{はず} ・外さない	がいじん	外人 ^{がいこくじん} ・外国人
がいか	外貨 ^{をか} をかせぐ	がいせん	電話 ^{でんわ} の外線 ^{がいせん} ・内線
がいかい	外海 ^{ないかい} ・内海	がいち	外地 ^{ないち} ・内地
がいかく	外角 ^{ないかく} ・内角	がいでん	外電 ^{がいでん} によると
がいかん	外觀 ^{わる} が悪い	がいぶ	外部 ^{ないぶ} ・内部
がいき	外気 ^わ にふれる	がいぶん	外聞 ^{わる} が悪い
がいきん	外勤 ^{ないきん} ・内勤	がいまい	外米 ^た を食べる
がいけん	外見 ^み からは――	がいむ	外務 ^{たいじん} 大臣
がいこう	外交 ^{もんだい} 問題	がいめん	外面 ^{ないめん} ・内面
がいこく	外国 ^い に行く	がいや	外野 ^{ないや} ・内野
がいご	外語 ^{だいがく} 大学	がいゆう	外遊 ^{がいゆう} する
がいし	外資 ^{どうにゅう} 導入	がいらい	外来 ^{かんじゃ} 患者
がいしゅう	外周 ^{ないしゅう} ・内周	あんがい	案外 ^{あんがい} うまくいった
がいしょう	外傷 ^{がいしょう} はないが――		

2017

角つの

角

⑦

かど・つの

角

カク

二一II

かど	角 ^{まが} を曲る	かくざい	角材
まちかど	街角	かくちゅう	角柱・角錐 ^{かくすい}
まちかど	町角 ^あ で会う	かくど	角度 ^ど 90度
つの	角 ^き を切る	いっかく	一角 ^し を占める
つの	鹿 ^{しか} の角	がいかく	外角 ^{ないかく} ・内角
つのぶえ	角笛 ^ふ を吹く	こうかく	口角 ^{あわ} を飛ばす
		しかく	死角 ^{はい} に入る
		たいかく	対角 ^{せん} 線
		たかく	多角 ^{てき} 的に仕事 ^{しごと} する
		ちょうかく	頂角
		ちよっかく	直角 ^{へい} ・平角
		とうかく	頭角 ^あ を現わす
		ないかく	内角 ^{がい} ・外角
		ほうかく	方角 ^{ちがい}
		ほかく	平角 ^{へい} ・補角

2018

楽き
楽

楽

⑬

ガク・ラク

楽

たの(しい)

たのしい 楽しいかな・悲しい
たのしい 楽しくない

らくえん 天上の楽園
らくらく 楽楽とできる
らっかん 楽観ひがし・悲観

がくし 楽士がくだん・楽団
がくし 楽師がし・絵師
がくしょう 三楽章
がくせい 楽聖ベートーベン
がくてん 楽典
がくや 楽屋うら
がっき 楽器がきを鳴らす

あんらく 安楽し死
かいらく 快樂
きらく 気楽くな暮らし
くらく 苦楽くを共にする
こうらく 行楽でに出かける
ごくらく 極楽とんぼ
どうらく 道楽をする

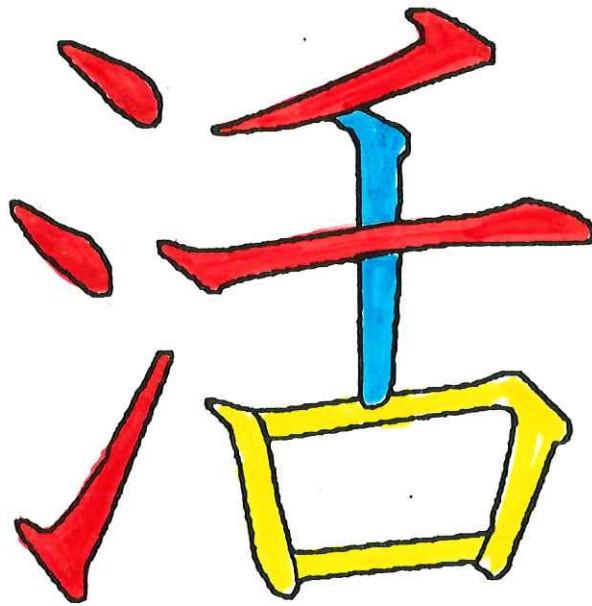
おんがく 音楽おんがくの時間
きがく 器楽がき・楽器
せいがく 声楽せいがく・器楽

かぐら お神楽



活

⑨



カツ

2019

いきる 生きる・活きる

いける いけ^{ばな}花を活ける

いきうお 活き魚^{りょうり}料理

かつじ 活字^{てが}・手書き

かつりよく 活力^{あふ}れる

かつろ 活路^{ひら}を開く

かっき 活気^{があ}ふれる

かっさつ 活殺^{しざい}自在

かっぱつ 活発^{おんなこ}な女の子

かっばん 活版^{いんさつ}印刷

かいかつ 快活^ふに振る舞う^ま

しかつ 死活^{にぎ}を握る

せいかつ 生活^{ひかせ}費を稼ぐ

問

もんがまえ

問

⑫

あいだ・ま

問

カン・ケン

あいだ	間 <small>はい</small> に入る	かんしょく	間食 <small>を</small> する
あいだ	間 <small>あ</small> を開ける	かんだん	間断 <small>なく</small>
ま	間 <small>を</small> とる	かんのう	間脳 <small>だいのう</small> ・ <small>しょうのう</small> 大脳・小脳
ま	間 <small>あ</small> に合わない	きかん	期間 <small>き</small> を決める
まぎわ	間際 <small>まで</small>	くかん	<small>じょうこう</small> 区間 徐行
まぐち	間口 <small>ひろ</small> が広い	さんかん	山間 <small>ち</small> へき地
まぢか	間近 <small>み</small> に見る	しゅうかん	<small>いっ</small> 週間
いま	居間 <small>きやくま</small> ・客間	じかん	時間 <small>はか</small> を計る
きやくま	客間 <small>いま</small> ・居間	せけん	世間 <small>し</small> に知れわたる
くもま	雲間 <small>つき</small> からお月さん	にんげん	<small>わたくし</small> 私は人間 <small>です</small>
てま	手間 <small>が</small> かかる	ねんかん	<small>いち</small> 年間
なかま	仲間 <small>に</small> なる	やかん	夜間 <small>ひるま</small> ・昼間
なみま	波間 <small>に</small> ただよう	りんかん	林間 <small>がっこう</small> 学校
ひるま	昼間 <small>さけ</small> から酒 <small>の</small> を飲む		
ひろま	広間 <small>あつ</small> に集まる		
ようま	洋間 <small>わしつ</small> ・和室		

2021

丸 まん

丸

③

ガン

丸

まる・まる (い)

2021 丸

まる 丸しかく・四角

がんやく 丸薬こなぐすり・粉薬

まるい 丸いしかく・四角い

いちがん 一丸ひとつとなって

まるい 丸いかお、顔

まるくない 丸くない

まんまる 真ん丸

山
石

やま

山
石

⑧

い
わ

山
石

ガ
ン

2022 岩

いわ 岩 ^{くだ}を砕く
いわ 岩 ^おを置く
いわば 岩場をのぼる
いわむろ 岩室
いわやま 岩山をのぼる

がんえん 岩塩 ^{しお}から塩をとる
がんせき 岩石 ^{くだ}を砕く
がんばん 岩盤 ^おが落ちる
さがん 砂岩 ^{れきがん}・礫岩

顔

おおい

顔

18

かお

顔

ガン

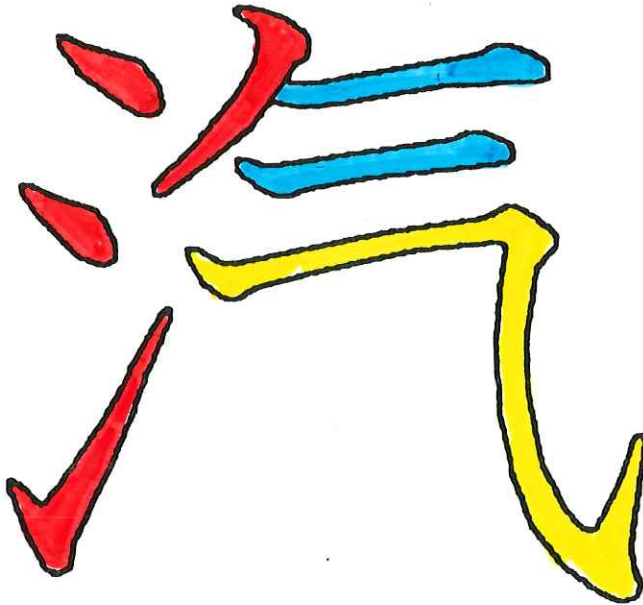
2023 顔

かお	顔 <small>あら</small> を洗 <small>う</small>	がんめん	顔面 <small>セーフ</small>
かお	顔 <small>わら</small> で笑 <small>って</small> こころ <small>な</small> で泣 <small>いて</small>	こうがん	厚顔 <small>むち</small> 無 <small>恥</small>
かおいろ	顔色 <small>わる</small> が <small>悪い</small>	こうがん	紅顔 <small>びしょうねん</small> の美少年
かおやく	かれは顔役 <small>だ</small>	せんがん	洗顔 <small>せっ</small> 石 <small>けん</small>
えがお	笑顔 <small>で</small>	そんがん	ご尊顔 <small>はい</small> を <small>押し</small>
しんがお	新顔 <small>ふるがお</small> ・古顔	どうがん	<small>とし</small> 年をと <small>つ</small> 童顔
すがお	素顔 <small>み</small> を <small>見せる</small>	はいがん	拝顔 <small>うえ</small> の <small>あいさつ</small> 上 <small>ご</small> 挨拶
にがお	似顔 <small>え</small> 絵		
ふるがお	古顔 <small>しんがお</small> ・新顔		
まがお	真顔 <small>で</small> た <small>ず</small> ね <small>る</small>		
ゆうがお	夕顔 <small>あさがお</small> ・朝顔		
よこがお	横顔 <small>が</small> す <small>て</small> き		

2024



⑦



井

2024 汽

きしゃ 汽車・きせん汽船

きせん 汽船・きしゃ汽車

きてき 汽笛がき聞こえる

は
か
え
る

帰

⑩

かえ
(る)

帰

キ

2025 帰

かえる いえ家に帰る

かえる がっこう学校から帰る

ききょう 帰京する

ききょう 帰郷する

きこく がいこく外国から帰国する

きしん 帰心や矢のごとし

きせい 帰省する

きぞく 帰属する

きたく 帰宅する

きのう 帰納・えんえき演繹

きろ 帰路につく

記

2020

記

⑩

キ

しる(す)

記

しるす メモに記す

しるす にっき日記に記す

きき 記紀まんよう万葉

きごう 記号・文字もじ

きしゃ しんぶん新聞記者

きしょう ぼうし帽子の記章

きじ しんぶん新聞記事

きちょう 記帳する

きねん 記念しなの品

きめい 記名する

ぐんき 軍記ものがたり物語

こうき へんしゅう編集後記

ごき 誤記ていせいの訂正

さき 左記・右記うき

ざっき 雑記ちよう帳

しゅき 手記はっぴようを发表する

じょうき 上記・下記かき

そっき ワセダしき式速記

でんき 伝記よを読む

とうき とち土地を登記する

にっき 日記をつける

ひっき 筆記する

ひょうき 表記ところの所に移転いてん

ふき 付記する

弓

ゆみ

弓

③

ゆみ

弓

キユウ

2027 弓

ゆみ 弓^やと矢

ゆみ 弓^ひを引く

きゅうじゅつ^{じゅう} 弓術^{じゅう}・柔術^{じゅう}

きゅうどう 弓道^{けん}・剣道^{けん}

ようきゅう 洋弓^{わきゅう}・和弓^{わきゅう}

わきゅう 和弓^{わきゅう}・洋弓^{ようきゅう}

牛 うし

牛

④

うし

牛

ギユウ

うし 牛^{うま}と馬

たねうし 種牛^{たねうま}・種馬

ぎゅうかわ 牛革^のカバン

ぎゅうご 牛後^{となる}なかれ

ぎゅうしゃ 牛車^{ばしや}・馬車

ぎゅうにく 牛肉^{にく}・ブタ肉

ぎゅうにゅう 牛乳^{せつ}石ケン

ぎゅうば 牛馬^{のごとく}

すいぎゅう 水牛^{つの}の角

にゅうぎゅう 乳牛^{にくぎゅう}・肉牛

魚 うお

魚



うお・さかな

魚

キヨ

さかな 魚^つを釣る
さかなや 魚屋^{さん}

ぎょかい 魚貝^{るい}類
ぎょひ 魚肥^{たいひ}・堆肥
ぎょふん 魚粉^{ひりょう}を肥料にする
ぎょるい 魚類^{ぎょぎょう}・漁業

きんぎょ 金魚^かを飼う
にんぎょ 人魚^{ひめ}姫
もくぎょ 木魚^{たた}を叩く
ようぎょ 幼魚^{ちぎょ}・稚魚
ようぎょ 養魚^{じょう}場



きょう

⑧



キョウ・ケイ

きょう ^{きょう}京の都

きょうと 京都・^{とうきょうと}東京都

きょうま 京間・^{えどま}江戸間

きょうやき 京焼き

ききょう 帰京^{する}

じょうきょう 上京^{する}

とうきょう 東京・^{きょうと}京都

強 ゆみへん

強



強

しよ(5)・し(5)る

キヨウ・ウゴウ

つよい 強い・弱い

つよい 強くない

つよき 強気・弱気

つよみ 強味・弱味

しいる 強いて 言えば
しいる 無理強いする

きょうか 強化する

きょうけん 強健 人

きょうこ 強固 構え

きょうこう 強行 突破

きょうこく 強国 になる

きょうしゃ 強者・弱者

きょうじゃく 音の強弱

きょうせい 強制する

きょうだい 強大・弱小

きょうちよう 強調する

きょうてき 強敵 現わる

きょうど 強度 がたりない

きょうふう 強風 注意報

きょうよう 強要する

さいきよう 最強 のすけっと

ふきよう 富強

べんきよう 勉強する

れっきよう 列強 の国

ごういん 強引 にすすめる

ごうじよう 強情 をはる

ごうよく 強欲 なやつ

教 おしにやう

教



キヨウ

教

おし(える)・おそ(わる)

おしえ 教え まもを守る
 おしえる 教える なら習う
 きょういく 教育 する
 きょういん がっこう学校の教員
 きょうか 教科 しょ書
 きょうかい 教会 いに行く
 きょうかん だいがく大学の教官
 きょうぎ 教義 にそむく
 きょうくん ~を教訓 とする
 きょうし 教師 せいと生徒
 きょうしつ 教室 はいに入る
 きょうじゅ 教授 じょきょうじゅ助教授
 きょうそ 教祖 さま様
 きょうと キリスト教徒
 きょうとう 教頭 こうちよう校長
 きょうよう 教養 ひとある人

きゅうきょう 旧教 しんきょう新教
 しゅうきょう 宗教 せんそう戦争
 しんきょう 信教 じゆうの自由
 しんきょう 新教 きゅうきょう旧教
 せつきょう 説教 をする
 せんきょう 宣教師
 ふきょう 布教 かつどうの活動
 ぶつきょう 仏教

2033

近

シカ
チカ

近

⑦

キン

二一三

近

ちか
(い)

⑧

ちかい 近い・とお遠い
 ちかく 近くであそ遊ぶ
 ちかみち 近道・ちかまわ近回り
 ちかめ 近日・とおめ遠目
 てちか 手近なもので
 まちか 間近みに見る
 みちか 身近ひとな人
 きんか 近火みまいお見舞
 きんかい 近海・えんよう遠洋
 きんがん 近眼・きんし近視
 きんきん 近近で出かける
 きんごう 近郷きんざい近在の人々
 きんし 近視・えんし遠視
 きんしん 近親しゅ者
 きんじ 近似ち値
 きんじつ 近日こうかい公開

きんじよ 近所ひとの人
 きんせい 近世・ちゅうせい中世
 きんせつ 近接ち地
 きんだい 近代・こだい古代
 きんとう 中近東
 きんねん 近年になつて
 きんらい 近来ないこと
 ちかみち 近道・とおみち遠道

えんきん 遠近とを問わず
 さいきん 最近のこと
 しきん 至近きより距離
 しんきん 親近かん感もを持つ
 せつきん 接近する
 ふきん びわ湖こ付近

2
0
3
4

兄

ひょうし

兄

⑤

あに

兄

キヨウ・ケイ

あに 兄あねと姉

あにうえ 兄上あねうえ・姉上
あにき 兄貴あねき・姉貴

にいさん 兄さんねえ・姉さん

きけい 貴兄

ぎけい 義兄ぎけい・実兄

じっけい 実兄じっけい・義兄

ちようけい いちばんうえ 兄長あに 一番上の兄

ふけい 父兄かい 会

形

カタギヨウ

形

⑦

かた・かたち

形

ケイ・ギョウ

かたち	形 <small>か</small> を書く	こけい	固形 <small>えきじょう</small> ・液状
かたち	顔 <small>かお</small> の形	ごけい	語形 <small>げんか</small> 変化
かた	形をとる	ずけい	凶形 <small>を</small> かく
かたみ	形見 <small>に</small> もらう	たいけい	体形 <small>か</small> が変わる
はながた	花形 <small>スター</small>	たいけい	隊形 <small>を</small> くむ
てがた	手形 <small>を</small> かく	ちけい	地形 <small>ず</small> 図 <small>よ</small> を読む
けいしき	形式 <small>まも</small> を守る	ほうけい	正方形 <small>けい</small> ・長方形 <small>ちょうほうけい</small>
けいせい	形勢 <small>わる</small> が悪い	むけい	無形 <small>ぶんかざい</small> 文化財
けいせい	形声 <small>しょうけい</small> ・象形	ゆうけい	有形 <small>むけい</small> 無形
けいたい	形態	ぎょうそう	形相 <small>すさまじい</small>
けいよう	形容 <small>し</small> 詞 <small>けいよう</small> ・形容する	にんぎょう	人形 <small>つかい</small>
えんけい	円形 <small>だつもう</small> 脱毛 <small>しょう</small> 症		
がいけい	外形 <small>み</small> から見ると		
きゅうけい	ボールは 球形		
げんけい	原形 <small>を</small> とどめる		

言

ㇿㇿㇿㇿ

言

㊦

はか(る)

言

ケイ

はかる 長さを計る
 はかります 計ります
 はかりません 計りません

けいき 計器
 けいさん 計算する
 けいじょう 計上する
 けいそく 計測する
 けいりやく 計略がばれる
 けいりょう 計量ばかり秤
 いっけい 一計あんを案ずる
 かいけい 会計けんさ検査
 かけい 家計ひくるまは火の車
 しょうけい 小計・中計ちゅうけい
 せいけい 生計をたてる
 とうけい 統計をとる
 よけい 余計なことを

元 ひとめし

元

④

もと

元

ゲン・ガン

もと	元 ^と を取る	げんき	お元氣ですか
もと	元 ^{はじ} から始める	げんし	元始、 おんな たいよう 女は太陽であった
もと	元 ^と から直す	げんしゅ	こっか 元首 国家
もとで	元手 ^と をかける	げんそ	元素 ^{きごう} 記号
いえもと	お花 ^{はな} の家元	きげん	せいよう 紀元 西洋
おやもと	親元 ^{はな} を離れる	ちゅうげん	お中元・お歳暮 ^{せいぼ}
くにもと	国元 ^{ちち はは} の父と母	ふくげん	復元 ^{する}
じもと	地元 ^{しゅつば} から出馬	がんきん	元金 ^{うしな} まで失う
てもと	手元 ^{のこ} に残す	がんじつ	元日・みそ日 ^か
ひもと	火元 ^{だいどころ} は台所	がんそ	元祖 ^{するがや} 駿河屋
みみもと	耳元 ^で でささやく	がんねん	へいせい 元年 平成
みもと	身元 ^{ふめい したい} 不明の死体	がんぽん	元本 ^{ほしょう} 保証
ゆもと	湯元 ^は は遠い	がんらい	元来 ^{しょうぶ} が丈夫
		がんり	元利 ^{ごうけい} 合計

言 コト

言

⑦

ゲン・ゴン

言

言 (コト) 言

いう 言う
 いいます 言います
 いわない 言わない
 ことば 言葉をおぼえる
 ことごと 小言を言う
 かたこと 片言はなで話す
 げんがい 言外にしめす
 げんこう 言行いち一致
 げんご 言語学
 げんち 言質をとる
 げんどう 言動きに気をつける
 げんろん 言論いゆの自由
 かくげん 格言・ことわざ
 きよくげん 極言すれば
 くげん 苦言ていを呈する
 しげん しかり至言だ
 しつげん 失言する

しゅうげん 祝言をあげる
 じょげん 助言する
 せんげん 宣言
 ちよくげん 直言する
 ほうげん 方言はなで話す
 ぼうげん 暴言をはく
 めいげん けだし名言
 よげん 予言い者

かごん 過言ではない
 たごん 他言はせぬ
 でんごん 伝言する
 むごん 無言でんわ電話
 ゆいごん 遺言をのこす



かん
だれ

原



は
ら



ゲ
ン

はら	原っぱ <small>あそ</small> で遊ぶ	げんず	原図・コピー
のはら	野原 <small>あそ</small> で遊ぶ	げんそく	原則として
うなばら	<small>おお</small> 海原 <small>わた</small> を渡る	げんてん	原典にあたる
かわら	河原 <small>こじき</small>	げんてん	原点にもどる
		げんぶん	原文にあたる
げんあん	原案 <small>さくせい</small> を作成する	げんぽん	これは原本です
げんいん	原因・結果 <small>けっか</small>	げんや	原野 <small>かいたく</small> を開拓
げんか	原価・売価 <small>ばい</small>	げんゆ	原油から
げんけい	原型 <small>つく</small> を作る	げんり	原理がわかる
げんけい	原形をとどめる	げんりょう	原料になる
げんこく	原告・被告 <small>ひこく</small>	こうげん	高原 <small>てつどう</small> 鉄道
げんさく	原作者 <small>しゃ</small>	へいげん	<small>だい</small> 大平原 <small>ちい</small> の <small>い</small> 小さな家
げんし	原始 <small>じん</small> 人・現代人 <small>げんだいじん</small>		
げんし	原子 <small>ばくだん</small> 爆弾		
げんしょ	原書・訳本 <small>やくほん</small>		
げんしょく	<small>さん</small> 原色 <small>あかあおき</small> 赤青黄		
げんすん	原寸 <small>だい</small> 大の <small>おお</small> 大きさ		

2040

戸と

戸

④

と

戸

コ

と	戸 <small>あ</small> を開ける	こがい	戸外 <small>で</small> に出る
あまど	雨戸 <small>あ</small> を開ける	こしゅ	戸主・家族 <small>かぞく</small>
なんど	納戸 <small>い</small> に入れる	こすう	村の戸数
		こべつ	戸別 <small>ほうもん</small> 訪問
		とぐち	戸口 <small>に</small> たつ
		かっこ	各戸 <small>くぼ</small> に配る
		もんこ	門戸 <small>ひら</small> を開く